

## 第5学年 音楽科学習指導案（略案）

○組 計 40 人  
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 **様子や気持ちを音楽で表そう**  
 教材 ◎「ピーターとおおかみ」 プロコフィエフ 作曲  
 様子や気持ちを音楽で表そう（本時主教材）

### 2 本時（2／6）

#### (1) 目標

- ア 自分のもったイメージと音楽の要素とを結び付けて、演奏することができる。【知識及び技能】  
 イ 様子や気持ちを音楽で表すことに関心を持ち、自分のもったイメージが音楽と合っているかを振り返りながら、音楽づくりの活動に進んで取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

#### (2) 本時の展開に当たって

本時はグループでテーマ設定した様子や気持ちをイメージし、それを基に音楽づくりをする時間となる。子供たちがイメージと音楽の要素とを結び付けることができるように、相互発表・鑑賞の場を通じてその考えを明確にさせるようにする。

#### (3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題把握</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題追求</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">表現の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">相互発表・鑑賞</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</div>	<p>1 前時までの学習を想起し、本時の学習について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     イメージに合うように、音楽づくりをしよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前の時間はテーマを決めて、楽器選びをしたな。</li> <li>・ イメージに合うような音楽をつくりたいな。</li> </ul> <p>2 グループごとに音楽づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい感じを出すためには、どの音色を使ったらいいかな。</li> <li>・ 走っている様子を出すには、リズムをもっと速くした方がよさそうだぞ。</li> </ul> <p>3 相互発表・鑑賞をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○班は、悲しい感じを小さい音でよく表しているな。</li> <li>・ △班は、雨がだんだん強くなってくるように、楽器の組合せ方を工夫しているな。</li> </ul> <p>4 本時の学習のまとめをする。</p> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい感じを出すためにどんな音色にすればいいか、いろいろな音を試しながら考えました。</li> <li>・ 走っている様子を出すために、リズムを細かく演奏できるように何回も練習して、できるようになりました。</li> </ul> </div>	(分) ↑ 10 ↓ 28 ↓ 7 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の活動を明確にし、めあてを導き出すために「聴く人に伝わるように、どんなことに気を付けて音楽づくりをしていくことが大切かな。」と問いかけるようにする。</li> <li>○ 自分のもつイメージに音色がより近づくようにするために、前時に決めた楽器やキーボードの音色を変更してもよいことを伝える。</li> <li>○ 音楽づくりが進まない子供に対しては、音楽の要素を選択しやすくするために、音楽の要素にはリズム、強弱、速度、音色などがあることを助言する。</li> <li>○ イメージと音楽の要素とを結び付けるために、「私は○○の様子を出すために、音楽の要素の△△を～～させて演奏します。」などという考えを発表させるような場の設定を行うようにする。</li> <li>○ 音楽づくりの参考とするために、相互発表・鑑賞の場面に限らず他のグループの作品を紹介する場を随時設定する。</li> <li>○ 次時への学習へとつなげるように、「なぜやる気がもてたのか」を、「音楽のつくり方を学ぶ力の発揮」と「感覚・技能・知識の高まり」の2点から振り返らせるようにする。</li> </ul>